

原稿内容確認書

広告内容をご確認いただき、ご返送くださいますようお願い致します。番号間違いにご注意ください。

株式会社タウンニュース社
中原区編集室

有賀 友彦

川崎市議会議員 松川正二郎 様

Tel 044-741-4111 Fax 044-741-4002

掲載日	掲載版	面	サイズ
2019/09/06	中原区版	外面	11.1cm × 4段



松川正二郎プロフィール
 NPO防災・防犯ネットワーク
 中原支部長
 中原区町内会連絡協議会理事
 (新丸子町内会会長)
 丸子地区社会福祉協議会理事
 丸子山王日枝神社氏子総代
<http://matsukawa.top/>
<https://www.facebook.com/shoujiro.matsukawa>
 TEL 044-328-9619

市政報告
Vol.4
平成30年度
市内児童虐待相談件数4134件
川崎市議会議員 松川正二郎

平成24年に議員提案にては、前年度より129件多く560件、対前年度比29・9%増となっております。虐待種別件数では、心理的虐待が最も多くなっています。併せて、近隣・知人からの件数も大きく増加しており、特に社会的に注目を集める事件(平成29年3月目黒区市事件)の報道等を受け、平成30年1月野田直後には、地域の児童虐待への関心が高まり、相談通告が急増する傾向が見られました。

年齢層別に虐待者内訳をみますと、虐待者が実母であった割合は、子どもの年齢が低い層ほど高く、逆に虐待者が実父であった割合は、子どもの年齢が高くなるにつれて高くなっていきます。

年齢が高くなるにつれて、虐待者自身が通告するケースも193件報告され、うち185件が実母によるもので、その7割以上が未就学児の育児中という切迫した結果も出てきました。

このことから、育児の悩みを抱える保護者の状況が児童虐待につながるのではないよう、早期の把握と支援の充実が重要であり、乳幼児期の子どもに在る全家庭を対象とした母子健康の取組と児童家庭相談機能の更なる強化が必要だと考えます。

痛ましい事件が一度と繰り返されることのないよう、行政機関のみならず、コミュニティや地域も一丸となって対策に取り組んでいきたいと思っております。

年齢層別に虐待者内訳をみますと、虐待者が実母であった割合は、子どもの年齢が低い層ほど高く、逆に虐待者が実父であった割合は、子どもの年齢が高くなるにつれて高くなっていきます。

Web掲載項目

川崎市議会議員 松川正二郎

044-328-9619
http://matsukawa.top/

店名・電話番号・営業時間等は必ずご確認ください。該当欄にチェックを入れ、ご署名の上期日までにご返送ください

訂正ナン。印刷作業を進めて下さい 訂正有り。タウンニュース社で修正して印刷作業を進めて下さい 訂正有り。確認のため修正した原稿をもう一度送信して下さい

お客様サイン 令和 年 月 日

弊社確認欄	校了	責了	点	編集担当者	入稿済	有賀 友彦	製作担当者	製作 (1)	三五 晴奈	2019/09/03 09:51	A000897547-1
-------	----	----	---	-------	-----	-------	-------	--------	-------	------------------	--------------